

安全データシート

作成日 2007年 4月 4日
改訂日 2017年 7月 7日

1.製品及び会社情報

製 品 名	OSプライマーER 主剤
会 社 名	オバナヤ・セメントックス株式会社
住 所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電 話 番 号	0594-72-6488
F A X 番 号	0594-72-6253
担 当 部 門	製造部 工場管理課
整 理 番 号	M3202-1

2.危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引 火 性 液 体: 区分2

健康に対する有害性

急性毒性

経 口: 分類できない

経 皮: 分類できない

吸 入: 区分4

皮 膚 腐 食 性 / 刺 激 性: 区分2

眼に対する重篤な損傷性 /
刺激性: 区分2

感作性

呼 吸 器: 分類できない

皮 膚: 区分1

生 殖 細 胞 変 異 原 性: 分類できない

発 がん 性: 分類できない

生 殖 毒 性: 区分1

特定標的臓器 /

全身毒性(単回暴露): 区分1

特定標的臓器 /

全身毒性(反復暴露): 区分1

吸引性呼吸器有害性: 区分1

水生環境

急 性 有 害 性: 区分2

慢 性 有 害 性: 区分2

オゾン層への有害性: 分類できない

GHSラベル要素



注 意 喚 起 語: 危険

危 険 有 害 性 情 報: 引火性の高い液体および蒸気
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器(中枢神経系、全身毒性)の障害
 臓器(中枢神経系、視覚器、全身毒性)の障害のおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ、眠気やめまいのおそれ
 長期的ないし反復暴露による臓器(中枢神経、腎臓)の障害
 長期的ないし反復暴露による臓器(中枢神経、視覚器)の障害のおそれ
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 長期継続的影響により水生生物に毒性

注 意 書 き : <安全対策>

使用前に取扱説明書を手入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地すること/アースをとること。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は、手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

<応急>

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 直ちに医師に連絡すること。
 皮膚(又は髪)に付着した場合:汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐこと。
 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は 外すこと。その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。
 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
 特別な処置が必要である。(SDSを医師に見せ判断を仰ぐこと)
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受けること。
 汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯をすること。
 火災の場合:消火するためにABC消火器を使用すること。

<保管>

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

<廃棄>

内容物や容器を、法令に従って適切に廃棄すること。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物

主 成 分: ビスフェノール A 型エポキシ樹脂

成分及び含有量:

成分名	含有量	CASNo.	化審法
2,2-ビス(4-ヒドロキシフェニル)プロパンのエピクロロヒドリンによるジグリシジルエーテル化変性物	25 ~ 35%	25068-38-6	7-1283
トルエン	40%	108-88-3	3-2
メチルアルコール	1 ~ 5%	67-56-1	2-201
酸化亜鉛	10 ~ 20%	1314-13-2	1-561
無機充填材	非開示	非開示	非開示
その他	—	—	—

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上目を洗浄した後、出来るだけ早く眼科医の診断を受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- 皮膚に付着した場合: 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。ガーゼ等の布でよく拭取り、大量の水及び中性石鹼を使ってよく洗い落とす。溶剤・シンナー等は使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛み・かゆみ等がある場合は直ちに医師の手当てを受けること。
- 吸入した場合: 風通しの良い空気が新鮮な場所へ移して呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合には、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 直ちに水道水で口内をすすぎ、速やかに医師の診断を受けること。意識が無い場合は、口から何も与えてはいけない。医師の指示による以外は無理にはかせないこと。

5. 火災時の措置

- 消火剤: 小火災 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、乾燥砂などを用いる。
大火災 泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 使ってはならない消火剤: 棒状注水
- 特有の危険有害性: 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法: 消火剤のうち、散水以外の消火剤を利用すること。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行なう者の保護: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項: 漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止し、危険区域での火気使用を禁止する。風下の人を退避させる。
作業の際には必ず保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項: 漏出したものが下水、河川に流出するのを防ぐ。
- 多量の漏出時: 可能な限りせき止めし、ポンプ(防爆型)等で回収する。又は砂、ウエス等に吸着させドラム等に回収する。
- 少量の漏出時: 砂、ウエス等に吸着させ、密閉容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意: 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。
局所排気装置等を設置して換気を良くする。
休憩所には洗顔、洗眼、手洗い等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。
労働安全衛生法、消防法等の関連法規に準拠して作業する。
火気厳禁。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 眼に入れないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。
 「8. 暴露防止装置」を確認のこと。

保管上の注意： 直射日光を避け、容器を密栓して風通しの良い屋内に保管する。
 ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
 混蝕禁止物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 容器： 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
 ステンレス等の密閉容器を使用すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： トルエン 50 ppm
 メチルアルコール 200 ppm

許容濃度：

成分名	許容濃度
トルエン	50 ppm 日本産業衛生学会 188mg/m ³ 皮 50 ppm ACGIH(TLV-TWA) skin; A4; BE I
メチルアルコール	200 ppm 日本産業衛生学会 260 mg/m ³ 皮 200 ppm ACGIH(TLV-TWA) skin; BE I 250 ppm ACGIH(TLV-STEL) skin; BE I
酸化亜鉛	日本産業衛生学会 第2種粉塵 総粉塵 4mg/m ³ 吸入性粉塵 1mg/m ³ ACGIH(TLV-TWA) 10 mg/m ³ (TLV-STEL) 2 mg/m ³

設備対策： 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行なうことが望ましい。
 洗顔、洗眼、手洗い場等を設置。

呼吸器の保護具： 防毒マスクを着用。

手の保護具： ゴム手袋等の適切な保護手袋を着用。

眼の保護具： 側板付普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡を着用。

皮膚及び身体の保護具： 不浸透性の保護衣、保護手袋、長靴、眼鏡及び前掛け等。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態・形状・色： 白色不透明液状

臭 気： 芳香臭

p H： データなし

融点・凝固点： データなし

沸点・初留点及び沸騰範囲： データなし

引火点： 4°C(原料データとして)

爆発範囲： トルエン 下限 1.1Vol%、上限 7.1Vol%

メチルアルコール 下限 5.5Vol%、上限 44Vol%

蒸気圧： トルエン 3.8kPa (25°C)

メチルアルコール 12.3kPa (20°C)

蒸気密度(空気=1)： データなし

溶解度 水： 種々の有機溶剤に可溶。水にほとんど溶けない。

n-オクタノール/水分配係： データなし

自然発火温度： データなし

分解温度： データなし

10.安定性・反応性

- 安定性： 通常の貯蔵条件下では安定。
- 反応性： 強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基(特に 1、2 級の脂肪族アミン等)
- と激しく反応する。硬化剤の中にはかなりの発熱を伴って急激に反応する物がある。
急激な硬化反応時には有毒な気体の発生を伴って分解を生じることがある。
- 避けるべき条件： 高温加熱、混触危険物質との接触、火源
- 混触危険物質： 強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基(特に 1、2 級の脂肪族アミン等)

11.有害性情報

- 急性毒性： 経口 分類できない
経皮 分類できない
吸入(気体) 分類対象外
吸入(蒸気) 区分 4 混合物計算推測値(LC₅₀) : 4200. 25ppm
吸入すると有害な物質を含む
吸入(粉じん・ミスト) 分類できない
- 皮膚腐食性/刺激性： 区分 2 皮膚刺激がある物質を含む
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性： 区分 2 強い眼刺激がある物質を含む
- 呼吸器感作性： 分類できない (個体/液体：分類できない 気体：分類できない)
- 皮膚感作性： 区分 1 アレルギー皮膚反応を起こすおそれがある物質を含む
- 生殖細胞変異原性： 分類できない
- 発がん性： 分類できない
- 生殖毒性： 区分 1 生殖能または胎児への悪影響のおそれがある物質を含む
- 授乳に対する又は授乳を介した影響： 授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分
授乳中の子に害を及ぼすおそれがある物質を含む
- 特定標的臓器/全身毒性
(単回暴露)： 区分 1、区分 2、区分 3
臓器(中枢神経系、全身毒性)の障害がある物質を含む
臓器(中枢神経系、視覚器、全身毒性)の障害のおそれがある物質を含む
呼吸器への刺激のおそれ、眠気やめまいのおそれがある物質を含む
- 特定標的臓器/全身毒性
(反復暴露)： 区分 1、区分 2
長期ないし反復暴露による臓器(中枢神経系、腎臓)の障害がある物質を含む
長期ないし反復暴露による臓器(中枢神経系、視覚器)の障害のおそれがある物質を含む
- 吸引性呼吸器有害性： 区分 1 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれがある物質を含む

12.環境影響情報

- 生態毒性： トルエン ブラウンシュリンプ EC₅₀ 3.5 mg/L/96H
メチルアルコール ブラウンシュリンプ LC₅₀ 900.73 mg/L/24H
酸化亜鉛 セレナストラム EC₅₀ 0.17 mg/L/72H
- 残留性/分解性： ビスフェノールA型固形エポキシ樹脂;ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂より残留性・分解性は低い。
ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂は急速分解性がない。(BODによる分解度：0%)
トルエン 急速分解性がある。(BODによる分解度：123%)
メチルアルコール 難水溶性ではない。(水溶解度=1.00×10⁶ mg/L)
- 生体蓄積性： ビスフェノールA型固形エポキシ樹脂;ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂より生体蓄積性が低いもの(BCF≤42)
酸化亜鉛 生物蓄積性は低いものの(BCF=217)、金属酸化物であり

水中での挙動が不明である。

トルエン

生物蓄積性が低いと推定される。(log kow=2.73)

OSプライマーER 主剤 (6/7)

土 壤 中 の 移 動 性: データなし

オゾン層への有害性: データなし

水生環境有害性(急性): 区分2 水生生物に毒性がある物質を含む

水生環境有害性(慢性): 区分2 長期継続的影響によって水生生物に毒性がある物質を含む

オゾン層への有害性: 分類できない

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

特に、製品や洗浄水が、地面や川、排水溝に直接流れないように対処すること。

13.廃棄上の注意

残 余 廃 棄 物: 処理に関しては、十分な知識を有する専門家の指示に従う。

残余物の処理は、焼却炉で少量ずつ処理するか、都道府県知事の許可を受けた信頼できる廃棄物処理業者に廃棄物の危険・有害性を充分告知の上、その処理を委託する。

汚 染 容 器 / 包 装 物: 空容器は残油または気化した蒸気の引火、爆発の危険があるので密栓し、指定場所に保管する。残油の回収、蒸気開放等未処理の空容器の切断、溶接等の加工はしない。

廃棄する場合は内容物を完全に除去した後処分する。

焼 却 す る 場 合: 珪藻土、おが屑などに吸収させて開放型の焼却炉で焼却する。

14.輸送上の注意

注 意 事 項: 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。転倒、落下、損傷のないように積込み、荷崩れ防止を確実にし、該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

国 連 分 類: クラス 3 (引火性液体)

国 連 番 号: 1263

P G: II

緊急時応急措置指針番号: 128

陸 上 輸 送: 消防法、労働安全法に定められる運送方法に従うこと。

海 上 輸 送: 船舶安全法に定められるところに従うこと。

航 空 輸 送: 航空法に定められるところに従うこと。

15.適用法令

消 防 法: 危険物第4類第1石油類 危険等級II 非水溶性

化 審 法: 優先評価化学物質(法第2条第5項)

46 トルエン

50 エチルベンゼン

労 働 安 全 衛 生 法: 名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

407 トルエン

560 メタノール

188 酸化亜鉛

名称等を表示すべき有害物(法第57条第1項、施行令第18条)

407 トルエン

560 メタノール

188 酸化亜鉛

第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2、有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)

37 トルエン

42 メタノール

危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)

労働基準法 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号)

トルエン

メチルアルコール

化学物質管理促進法

(PRTR法): 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

300 トルエン

毒物及び劇物取締法: 非該当

大気汚染防止法: 該当

水質汚濁防止法: 該当

海洋汚染防止法: 該当

船舶安全法: 引火性液体類(危規則第2、3条危険物告示別表第1)

航空法: 引火性液体 (施行規則第194条危険物告示別表第1)

16.その他情報

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。
